



2013年トレンド予測

進学領域

WEBサイト・情報誌

情報誌

進学ブック



PCサイト

リクルート進学ネット <http://shingakunet.com>



ケータイサイト



受験サプリ <http://jyukensapuri.jp/>



進学総研サイト

<http://souken.shingakunet.com/>



高校生の進路選択を
サポートするサービス

ステークホルダーへの
情報発信

大学経営層対象

カレッジマネジメント



高校教員対象

キャリアガイダンス



キーワード

グローバル人材育成の場としての **寮内留学**

- ・国際感覚と人間力を持った人材の育成を目指し、学生寮の教育的機能としての価値が見直されている。
- ・留学生と日本人学生を共同生活させ、交流や異文化理解の場としての価値を再評価。
- ・留学しなくても、日常生活のリアルな場で、グローバル社会に適応できる国際感覚を醸成する。
- ・寮内留学を経て、本格的な留学へのステップアップも期待できる。
- ・国際系の専門大学だけでなく、総合大学や理工系大学、女子大でも新設の動き。

<従来の寮>

日本人だけで集まる
共同寮



※イメージ

ワンルームマンション型
完全プライベート寮



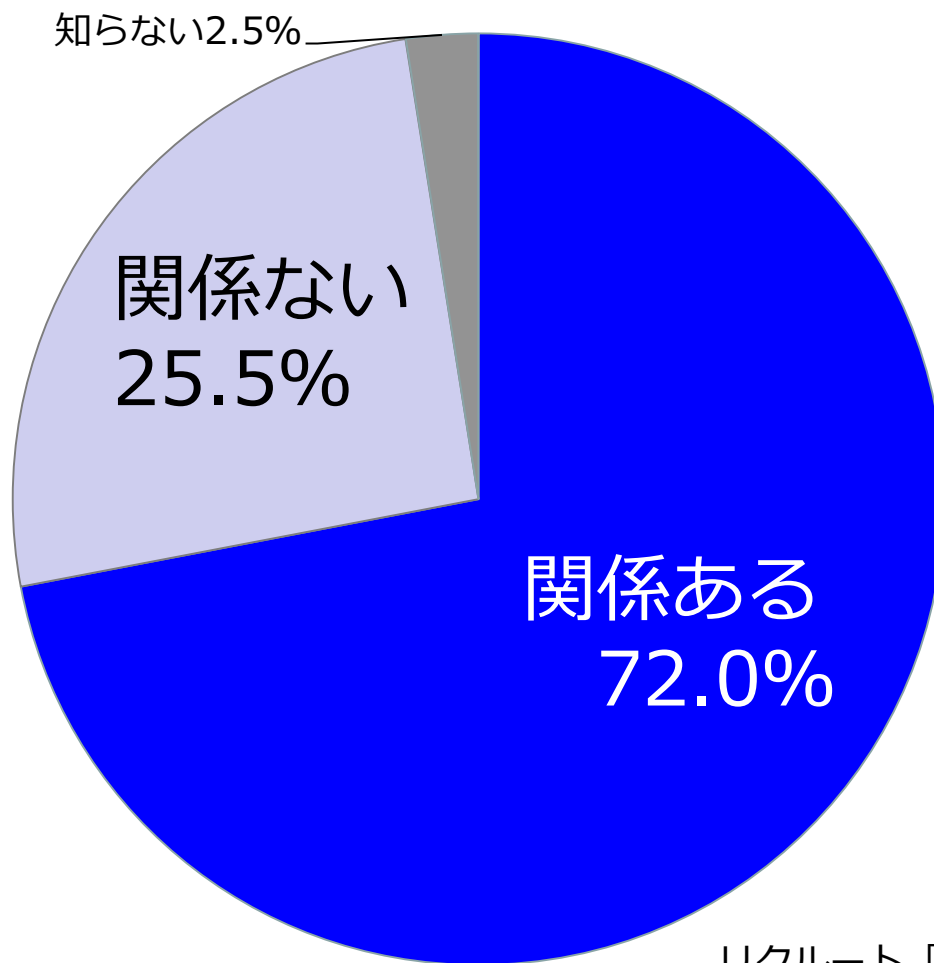
※イメージ

これだけでなく

<グローバル人材育成の場としての新たな価値を生む寮>

外国人留学生とルームシェア
or居室以外共有利用

高校生の7割強が、
「グローバル化は自分に関係がある」と感じている



「国際・語学」に関する進学情報に対しても、 高校生のニーズが増加している

(弊社進学情報サイト「リクルート進学ネット」のデータより)

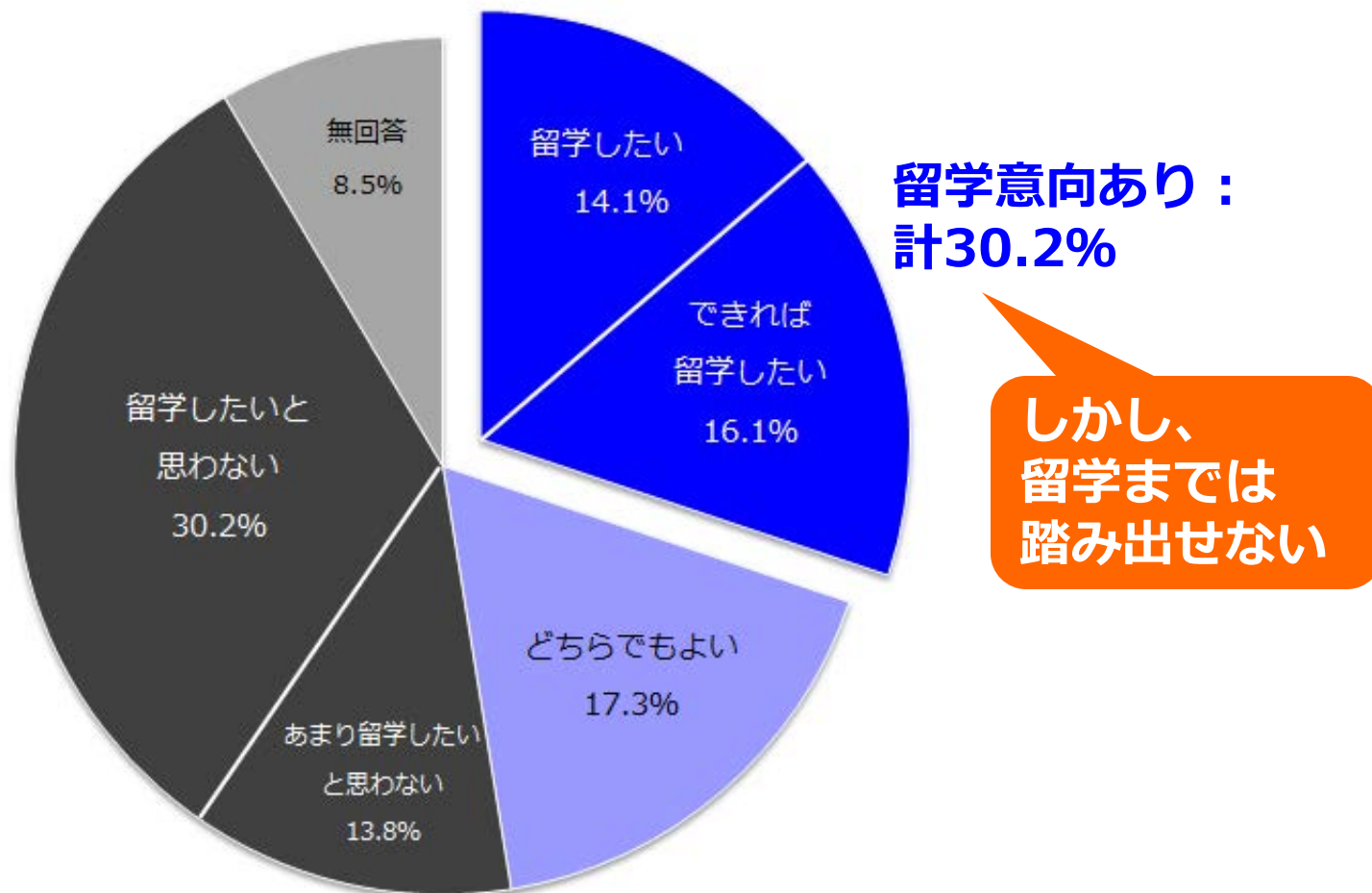
- ① 高校生の“学びたい分野”で「国際・語学」の検索回数が、
2010年から2011年にかけて12%増加



- ② 「国際関係学」「国際文化学」「語学（外国語）」などの学問情報ページの
ページビューが2010年から2011年にかけて13%増加



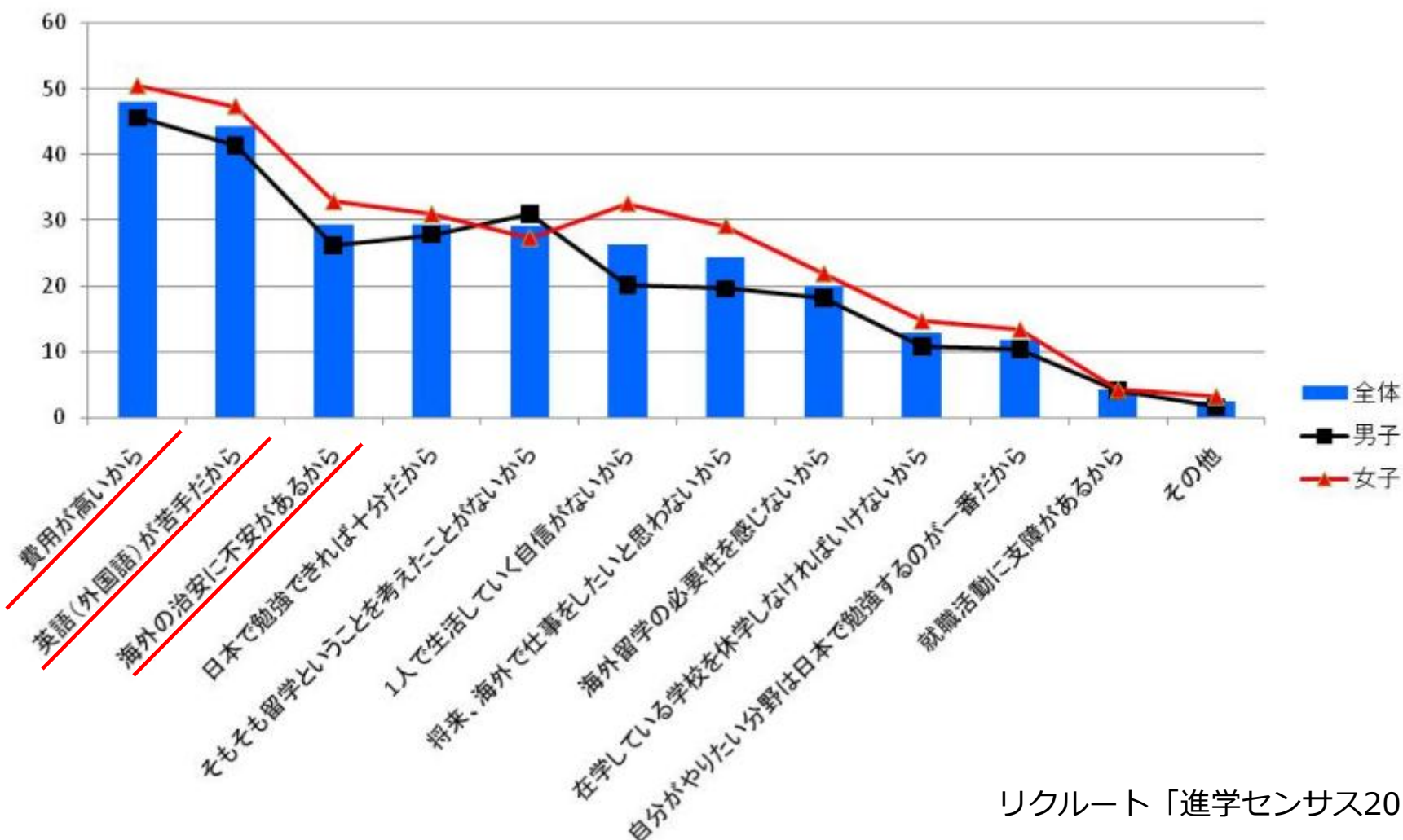
一方、実際に留学したいと考える高校生は
3割にとどまる



リクルート「進学センサス2011」

留学に踏み切れない理由

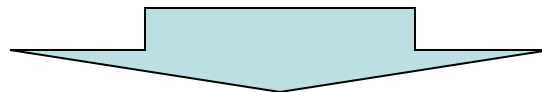
3つの大きなハードル①費用②語学力③治安



リクルート「進学センサス2011」

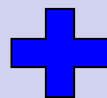
**急速なグローバル化の進展により、
企業で求められる人材が変化**

- 1) コミュニケーションツールとして必要とされる「外国語」
- 2) 尖閣問題でクローズアップされた「異文化理解」の重要性
- 3) 世界を牽引する「グローバルリーダー」だけでなく、
現場で活躍する、幅広く、多様なグローバル人材の育成が課題に



**異文化で育った同僚と一緒にあって価値を
生み出す人材が必要**

外国語



異文化理解

リアルな生活の場（日常）を通じての“経験価値”

- Ex)
- ・ クリスマスパーティ開催か否かで毎年議論
 - ・ 「ハラル」済みの食材への理解
 - ・ お祈りの時間、場所が必要に
 - ・ ごみの捨て方、掃除を自分たちでするか否かで議論

Step up

寮内留学

国際感覚の醸成

本格留学へ

キャンパス全体がグローバル人材育成の場となっている大学が先行

国際基督教大学

(写真は櫛寮)



- ・寮生活をリベラルアーツ教育の一部と位置付け、キャンパス内に9棟の学部学生寮をもつ。収容定員は全学生の1/4に当たる600名。外国籍留学生も多く居住している。
- ・居室は主に2人1部屋。他者との対話の機会、さらに共同生活での摩擦を解決する過程を多く経験させることが狙い。
- ・寮内の運営は、寮生同士が毎月行う寮会で議論し決定。寮内の意見をまとめ、ルール改善が必要な場合は大学側と交渉。

国際教養大学

(こまち寮)



- ・2つの居室（1部屋を2人で利用）と共有部分で構成
- ・入学後の1年間全員が入寮。日本人学生が一定期間、留学生と同室になるようにしている。
- ・卒業までに最低1年間の留学が必須。「数年後に留学した時のための訓練」としての機能も果たしている。

立命館アジア太平洋大学

(APハウス)



- ・国際学生と国内学生の比率は7 : 3。
- ・2012年11月現在で世界62カ国・地域から1,200名の寮生が生活
- ・RA（レジデント・アシスタント）と呼ばれる学生が各フロアに2名、合計64名配置され、寮生の生活のサポートや交流促進のプログラム作成などを行っている。

キャンパス全体でのグローバル化は難しい総合大学等も設置

福岡女子大学

(国際学友寮なでしこ)
(2011年開設)



- ・グローバルに活躍する次代の女性リーダーの育成を目的として設立。
- ・基本的に1ユニット（4DK）に日本人学生3人と留学生1人。
- ・留学生と共同生活をする340人収容の寮。初年次の1年間には全寮制教育を実施。
- ・月額1万5,000円（光熱費含。近隣の賃貸物件の約3分の1）
- ・2011年度入試の競争率は2.9倍と、2010年入試の2.5倍を上回る

中央大学

(国際寮)
(2011年開設)

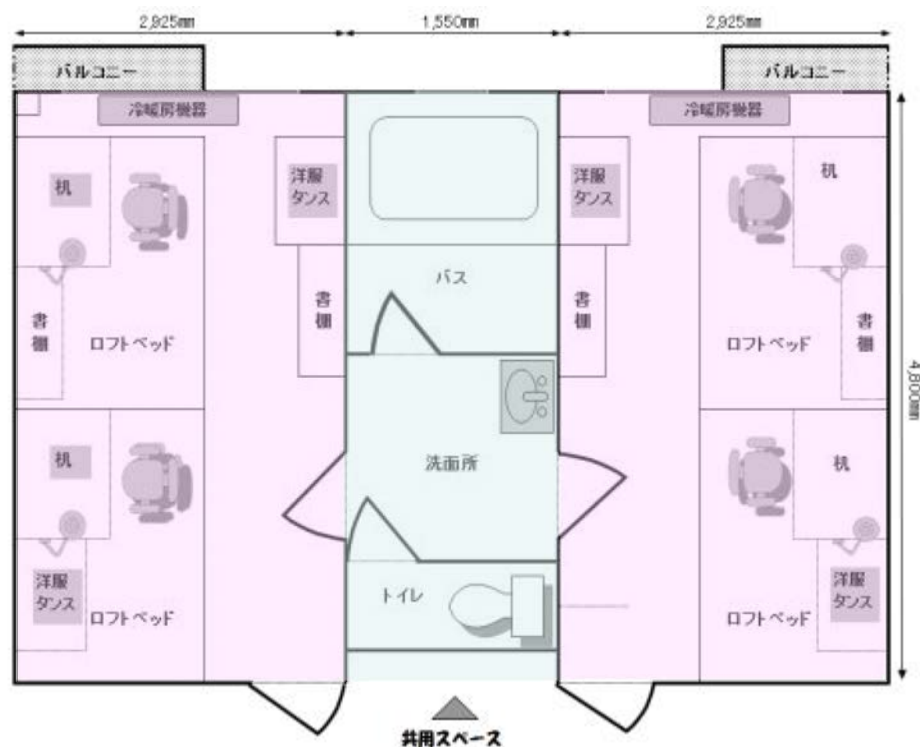


- ・海外留学生と日本人の3人1組で共生。
- ・日本人学生、外国人留学生が、日常の生活を通じて自然に入居者相互の交流が出来る仕組み。
- ・共同スペースを使い、国際交流を目的としたイベントも開催。共同キッチンで調理し、共同ラウンジにてスペイン、イギリス、ベトナム料理などのパーティーを開いている。

■寮のレイアウト例 （国際教養大学／こまち寮）

外国人留学生（ルームメイト）とルームシェア。
バス・トイレ・洗面所は共用。
各階にランドリールーム、1階に共同キッチン。

【ルームシェア型】



■寮のレイアウト例 （福岡女子大学／国際学友寮なでしこ）

プライベートが守られる個室+留学生と
コミュニケーションができる共用部分。

【個室+共用スペース型】



■寮生活の様子

（立命館アジア太平洋大学／APハウス）



■寮生の感想（立命館アジア太平洋大学HPより）

世界中から集まった国際学生と一緒に生活できるなんて、他ではまず経験できないこと。私は高校時代からAPハウスに憧れていました。ルームシェアしていると大声で泣けない（笑）とか、苦労することもあるけれど、相手のことを気遣う心を学びました。今やAPハウスの仲間は、国も文化も越えてつながる家族のような存在です。普段の生活が楽しいし、イベントも盛りだくさん！特にお互いのお国料理をふるまったパーティが思い出深いですね。APハウスでの生活は、言語を実践的に学べるだけでなく、多様な考え方や価値観に触れ、人間的に成長できる素晴らしい「チャンス」だと思います（日本人寮生）

■寮生の感想（福岡女子大学HPより／国際学友寮なでしこ）

「自炊と勉強との両立は思った以上に大変ですが、充実しています。ルームメイトと一緒に勉強したり、料理をしたり、修学旅行のようで楽しいです。」

（日本人寮生）

「日本人学生と一緒に暮らしていますが、日本の文化や習慣も学べますし、日本語も上達します。一緒に料理したり勉強したり、とても楽しいです。」

（中国からの留学生）

早稲田大学

(中野国際コミュニティプラザ)
(2014年開設予定)



- ・日本人学生と留学生が共生する**定員900名規模の国際学生寮**を「中野国際コミュニティプラザ」内に開設予定。
- ・国籍の違う学生と一緒に生活することによる異文化理解やグループ学習によるリテラシー教育（キャリア形成等）
- ・社会人基礎力、適応力、リーダーシップなど**社会のニーズに応え得る人材を育成するためのプログラムも実施。**

麗澤大学

(グローバル・ドミトリー)
(2013年開設予定)



- ・“**Global Learning Community**”（国際的な「学び」の共同体）の形成をコンセプトに、「グローバル・ドミトリー」と命名。
- ・外国人と日本人の共住（部屋は個室）により多文化を実体験し、生活レベルの切磋琢磨を経て人格形成と社会人基礎力の養成に寄与。
- ・学生の自主企画による学習会や大学主催のセミナー等によって多彩な「学び」を提供。

芝浦工業大学

(国際学生寮)
(2013年開設予定)



- ・文化交流と共同生活を通じた、**国際感覚と人間力を持った人材の育成と、地方出身者の経済的負担の軽減**を目的に大宮キャンパス内に設置。
- ・居室は個室だが、シェアキッチンと多目的スペースを多く設置。
- ・工学女子向けに1フロア用意。セキュリティ機器も設置。

キーワード

グローバル人材育成の場としての **寮内留学**

- ・ 国際感覚と人間力を持った人材の育成を目指し、学生寮の教育的機能としての価値が見直されている。
- ・ 留学生と日本人学生を共同生活させ、交流や異文化理解の場としての価値を再評価。
- ・ 留学しなくても、日常生活のリアルな場で、グローバル社会に適応できる国際感覚を醸成する。
- ・ 寮内留学を経て、本格的な留学へのステップアップも期待できる。
- ・ 国際系の専門大学だけでなく、総合大学や理工系大学、女子大でも新設の動き。